

## 大雨、台風対策をしましょう



6、7月の大雨で、全国に大きな被害が発生しました。東海地方は梅雨明けしましたが、これから本格的な台風シーズンがやってきます。気象情報に十分注意して、被害防止、伝染病の侵入防止に努めましょう。

### 事前の対策

1. 畜舎の損傷、倒壊のおそれがある所は、補修して備えましょう。
2. 大雨による畜舎への浸水のおそれがある場合は、排水溝の清掃、設置などの備えをしましょう。堆肥流出にも注意が必要です。
3. 畜舎への浸水により家畜への被害が予想される場合には、事前に家畜の避難場所を確保しておきましょう。
4. 停電等が想定される地域では、自家発電機による搾乳、生乳冷却、畜舎内の送風ファン等に対応できるようにしておきましょう。
5. 断水の可能性がある場合には、最小限の飲料水を給水タンク等で確保しておきましょう。

### 事後の対策



- ・畜舎内・周辺の排水、乾燥、消毒
- ・流入した土砂の除去
- ・畜舎、牧柵、防鳥ネット等の施設の点検、補修、洗浄、消毒
- ・品質が悪化した飼料の給与中止
- ・飲水に適した水の給与
- ・泥・雨水で効果低減するため、踏込消毒槽の消毒液の交換

今回の大雨により家畜の疾病発生があった場合、飛騨家畜保健衛生所まで報告願います。

例) 停電で搾乳できず、乳房炎が多発  
畜舎が浸水し、蹄病が多発 など



農場の見回り、片付けをするときには、安全に注意して行いましょう。

# 暑熱対策をしましょう

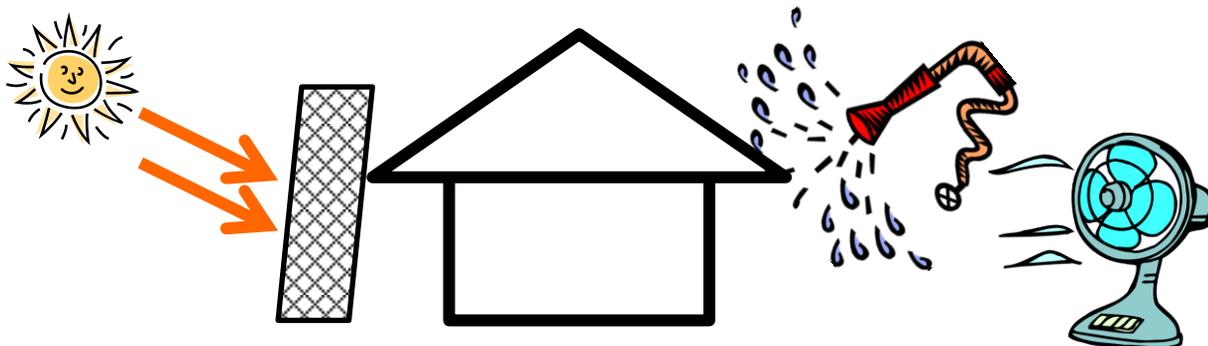
気象庁の3カ月予報によると、今年の7月～9月の気温は全国的に平年より高いと見込まれます。家畜が健康で快適に過ごせるように、暑熱対策に努めましょう。

## 外部からの熱の侵入防止

- ◆屋根、壁への断熱材の利用
- ◆寒冷紗、よしず等による遮光
- ◆石灰乳・白色系塗料の塗布
- ◆屋根への散水

## 熱放散の促進

- ◆換気扇、扇風機、ダクト送風機による送風  
⇒体熱が蓄積される夕刻～夜間の送風が有効
- ◆細霧装置の利用  
⇒送風機との併用が効果的
- ◆飼育密度の低下（夜間放牧の実施など）



## 飼料給与と給水

- ◆良質で嗜好性の高い飼料の給与
- ◆涼しい時間帯の給餌
- ◆飼料給与回数を増やす
- ◆ビタミン、ミネラルの補給
- ◆重曹の飼料添加
- ◆新鮮で冷たい水の十分な給与

## 空調効率のアップ

- ◆空調フィルターの定期的な交換
- ◆送風機のクモの巣の清掃
- ◆畜舎周囲のネットのホコリを清掃

ブロイラー農家では、換気扇・給水器の故障による熱射病が散見されます。事前の施設点検実施と維持管理に努めましょう。

暑い日に作業をする場合は、  
十分な水分と休息をとり、熱中症に注意して行ってください。

飛騨家畜保健衛生所(飛騨総合庁舎内)

〒506-8688 高山市上岡本町7-468

TEL:0577-33-1111 FAX:0577-32-9019 E-mail:c24508@pref.gifu.lg.jp

